



☎ 080-3328-0327 固 43-9207



脳卒中当事者の社会復帰を支援する活動を行う、脳卒中と向き合う活動団体 OneFeelsの代表 佐々木三之さんにお話を伺いました。

団体の紹介

皆さんは、青森県が脳卒中発症率が非常に高い県であることを知っていますか？脳卒中は治療後も麻痺や言語障害などの後遺症が残ることの多い病気ですが、脳卒中友の会のような当事者同士の横のつながりがなく、情報収集や精神的な面で悩みを抱えている人が多くいます。私も5年前に脳卒中を患い、懸命なりハビリにより社会復帰を果たしました。脳卒中当事者が病気になった後も社会に参画していけるのだという姿勢を示すことで、脳卒中当事者をけん引していこうという思いから2021年にこの団体を立ち上げました。



活動紹介

脳卒中当事者を中心に、その家族、医療従事者、賛同者が集まりさまざまなイベントを開催しています。昨年行った「脳卒中と夏祭り」では、脳卒中当事者が書道パフォーマンスや寸劇などに挑戦し、ステージで成果を披露しました。砂浜や公園を歩くウォーキングリハビリや、プラスチック製の円盤を投げて投球の距離・正確性を争うフライングディスク大会への参加など、みんなで運動も楽しみました。今年は、八戸高専の学生とMR技術を用いたリハビリの開発事業にも取り組む予定です。また、10月14日(月・祝)にはマチニワで脳卒中と秋祭りも開催予定ですので、皆さんのご参加をお待ちしています。



市民の皆さんへのPR

脳卒中による障がいと向き合いながら、生活や仕事に奮闘する仲間がいます。体験したことや悩み・不安など、同じ境遇だからこそ理解し、同じ感覚を共有することができる場所がOneFeelsです。脳卒中についてなんとなく知っていても、当事者の実情を知る人は少ないと思います。脳卒中になっても、こうして前向きに活動している人たちがいるということを知ってもらうとともに、私たちの活動を知ってもらうことで、脳卒中の予防につながっていくことを期待しています。

固 佐々木 三之 (OneFeels 代表)

☎ 080-3328-0327

✉ onefeels.aomori@gmail.com



Instagram



YouTube



今回は12月号に掲載!

広報
はちのへ

2024

8

No.1392

市ホームページ



市公式SNS



2024年8月号

令和6年7月20日発行

[印刷部数] 97,800部

[印刷経費] 62,568円/部

[発行] 八戸市

031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号

TEL:0178-43-2111 FAX:0178-45-2077

[編集] 八戸市総合政策部広報統計課

TEL:0178-43-9317 FAX:0178-47-1485



広報はちのへを、スマホで

Catalog Pocket カタポケ

🇯🇵 🇺🇸 🇨🇳 🇹🇼 🇻🇳 🇹🇭 🇸🇬 🇰🇷 🇩🇪 🇫🇷

This Public relations magazine can be read in 10 languages.

無料
Free App



UD
FONT
by MORISAWA